

2025年1月31日

特定非営利活動法人 日本腹膜透析医学会
理事長 水口 潤 様
理事・PD 関連感染症プロジェクト委員長
伊藤 恭彦 様

H.U.フロンティア株式会社
商品・サービス開発部
部長 今村 政弘



血液培養ボトルを用いた培養検査について

謹啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、貴会より腹膜透析液をベクトンディッキンソン社（以下、BD）の血液培養ボトルにて培養検査を実施する点について、ご意見を賜りありがとうございました。その点につきましてご回答させていただきます。

BD 社の見解として、本検査に使用する検査機器はあくまでも血液材料を指定材料として評価されたものであり、他の検査材料においては品質保証が担保できないとの見解を株式会社エスアールエル（以下、SRL）は得ております。

その見解を元に、SRL では、原則は血液材料以外での BD 社の血液培養ボトルでの培養検査受託は行わない方針でございます。

一方は、貴会よりご指摘いただきました通り日本透析医学会のガイドラインにおいて、腹膜透析関連腹膜炎の診断には、血液培養ボトルでの培養が推奨されている点も承知しておりますので、SRL が実施する検査受託の下記条件をご依頼先の医療機関様にご了承いただいた上で今回のようなご要望にお応えする所存である旨を弊社は、SRL より伺っております。

（検査受託の条件）

- SRL が実施する血液材料以外での BD 社の血液培養ボトルでの培養検査は、通常の血液培養と同様に培養装置で陽性シグナルが出たもののみ、次工程の検査を実施いたします。また、BD 社見解も含め、SRL として検査結果データの保証ができないことご了承願います。
- 本検査をご依頼される際には、必ず事前に弊社を通じて、SRL に本条件を医療機関様へお伝えし、そのご了承をいただいた医療機関様のみから検査受託すること。

健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。引き続き一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

謹白